

平成30年4月5日 00372号

編集者:佐藤寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

# 北見武道通信

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

**ニュースレター【事務局情報】北見市武道館感染予防月間(11月1日~4月30日)！ウイルス感染予防のお知らせとご協力⑰ 練習前の体調チェックは必ず行いましょう！**

**平成30年度北見市武道館管理業務協定書が交わされました。**



3月29日北見市武道館で、北見市辻直孝市長と特定非営利活動法人北見市武道振興協会佐藤寿春代表理事が平成30年度北見市武道館管理業務協定書を交わしました。北見市から選定を受け武道館指定管理者としての契約期間は5年で、今年度を入れて残り3年ですが、年度毎に管理業務協定書が交わされます。

**武道振興協会事務所の花シリーズ** 事務所の「クンシラン」が

咲きました！さほど手入れはされていなかったようですが、今年も綺麗に仲良く二つの花が咲いてくれました。検索で「ラン」とは言っても「ユリ科に含まれる」と知りました。



## 北見柔道連盟・北見市柔道協会合同の送別会！



3月26日(月)ホテル黒部において佐藤久将氏と川合達也氏の送別会が連盟・市協会合同で行われ、会場には連盟・協会それぞれの会長を含め柔道関係者が大勢参加しました。札幌の道警本部警察学校に転勤する佐藤氏は「北見市に来て、4年間子供達(少年柔道)とたずさわり礼儀正しさや、各道場が武道館に集まって稽古する姿に驚きました。次の転勤希望はまた北見にしたいと思います。」と挨拶され、また、カナダで修行したいという川合氏は「若いうちに武者修行をし、柔道を通した国際交流も行いたい」と抱負を述べられました。送る参加者に惜しまれながら、楽しいひと時を楽しんでいました。

## 連載「武道宝鑑」第18弾 柔道秘訣 柔道教士七段 尾形源治 『柔道修行の心得』

修行者は常にこの自信を持たなければならないし、そこ迄到達するように心がけねばならない。自惚れは修行の妨げになるが、酒色もまた修行の大敵である事勿論である。飲食の慾、色の慾は人間の本能であるから全然悪いというのではない。只これを慎まずして本能の赴くがままに其の慾を逞しうしたならば、心身を害し、従って修行の妨げとなるは明かである。殊に青年時代に絶対に色食の二慾を慎めば、上達も速やかであり品性は高潔となり一生の体力的基礎も出来上がるのである。然し乍ら言うは易くして行は難しいのである。昔から一能一芸に達した人々を見るに、どんなにこれらの煩惱を断ち、修行三昧に苦心したかが察せらるるのである。陽明先生でさえ山中の賊を破るのは易くして、心中の賊を破るのは難しと叫んで居るではないか。己に克つことのいかに困難であるかは、これを以て見るもなかなか大変である。柔道修行は充分の自覚と反省とを以て身を持するに謹厳でなければならぬ。

練習前の注意 第一に注意すべきことは、人格者で技術の優秀なる指導者につくことであるが、その他参考書等に依り、理論を能く脳裏に刻み予備知識を有することが大切である。次に睡眠不足は元気消耗の原因であって、練習に当たって充分の稽古はできないものである。しかし余りに眠りに足ってもいけない、睡眠時間は普通七時間位でよいのである。それから満腹、空腹であってもならない。少々の空腹は少々の練習は出来るとしても、…つづく